

施設番号	66-0600
施設名	白梅保育園
施設所在地	花小金井南町 2-12-5
法人名	社会福祉法人小松福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜を育ててみよう！

<テーマの設定理由>

畑への散歩や絵本から野菜に興味関心を示したことをきっかけに食育に繋がる活動になればと思った

2. 活動スケジュール

- ・5/15 野菜の苗植え（きゅうり、ピーマン、なす）
→毎日交代で水やりを行う
- ・6/6 ピーマン収穫、実食
- ・6/16 きゅうり収穫、実食
- ・7/2 ナス収穫、実食
- ・9/4 終了（野菜の苗の片付け）



○用意したもの

苗2つずつ（ピーマン、ナス、きゅうり）、土、肥料、プランター、支柱、じょうろ

○子どもの姿

- ・畑への散歩…野菜への興味が出てくる。葉っぱからなんの野菜か想像する。
- ・野菜の絵本…野菜の葉っぱや花を見て、何の野菜か考えたり、実物と比べて確認する。
- ・野菜の絵カード…並べて八百屋さんごっこ。
- ・苗植え…野菜が好きな子も苦手意識のある子も意欲的に参加しようとする。
苗を目の前にしてまだ野菜のなっていない状態を見て「これがナスなの？」と不思議そうにする。
- ・水やり…毎日の経過を観察して大きい小さいの比較や色の変化に気づく。
- ・収穫…①大人と一緒に自分の好きな野菜を選んで収穫。収穫した野菜を見て、野菜の数、大きさ、感触を口にする。（「これは大きいね」「これは赤ちゃんだね」「つるつる」）、その後調理室へ渡しに行き、昼食またはおやつに出してもらい実食。（ピーマン→ナポリタン、きゅうり→塩もみスティック、ナス→味噌汁）
②家庭に持ち帰って親と一緒に食事の話題を広げる。
③スタンプングであそぶ
④葉っぱや茎であそぶ
- ・収穫の終了…秋になり野菜の収穫の終わりまで子どもと見届けて、苗を一緒に抜いたときの根っこを見て、ここから水分や栄養分を吸収して苗が育つことを大人の話から理解して振り返る。

探究活動の実践

4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

野菜に対しての子どもたちの意欲が想像以上であった。ひとつひとつの発見がはじめてで、子どもたちに大きな印象を与えていたことを感じた。

また野菜の成長が視覚的に分かりやすいことが、「明日はもっと大きくなるんじゃない？」等と期待する毎日の繰り返しとなり、長期にわたって子どもの関心につながっていた。

栽培しているものだけでなく、他の給食の食材に対して質問が増えたり、他の野菜にも興味を持つようになった。また野菜嫌いな子が自分の育てたものという意識から、野菜を身近に感じるようになり、匂ったりなめてみる成長が見られた。

毎日の水やりから成長を見守り、大きさ、数、色など自分で考える姿があり、野菜ひとつから多岐にわたって興味関心が広がり、食に関してはもちろん、認知や発達にも繋がっていたことを感じた。